

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル

0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

玄関収納

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



警告

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。確実に守りください。



禁止

・はさまれ注意!

部材と部材のあいだに、体の一部が入っている状態で施工をすると、ケガをする場合がありますのでご注意ください。

・必ず同梱の金具を使用する。

同梱の金具で施工しなかった場合、商品が破損したり、落下、転落してケガをするおそれがあります。



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・棚板の耐荷重は1枚当たり4kg。

棚板の耐荷重を越えて収納しますと棚板が破損したり脱落してケガの原因となります。

・ヒンジを分解しない。

扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

・フロアーキャビネットのカウンターの耐荷重は20kg。

カウンターの耐荷重を越えて荷物を置いたりしますとカウンターが破損したりし、ケガの原因となります。

・投光器やストーブなどの熱源に注意。

投光器やストーブなどの熱源が製品表面に長時間当たったり、近づけすぎると、熱による膨れや変色が発生する恐れがあります。

・潤滑油・殺虫剤などのご使用に注意。

潤滑油や殺虫剤などが製品表面に付着すると膨れや変色が発生する恐れがあります。付着した場合は、速やかに拭き取って下さい。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・確実にヒンジと座金をジョイントする。

扉取り付け用のヒンジが確実に座金とジョイントされていないと、扉が脱落してケガの原因となりますので、確実にヒンジと座金をジョイントしてください。

・確実にキャビネット同士を連結する。

キャビネット同士が連結金具で確実に連結されていないと、キャビネットが転倒・脱落してケガの原因となりますので、確実にキャビネット同士を連結してください。

・確実にキャビネットと壁面を固定する。

キャビネットがあらかじめ間柱・補強材等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

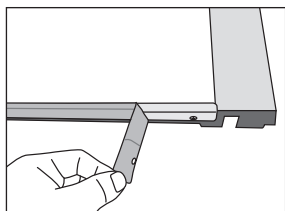
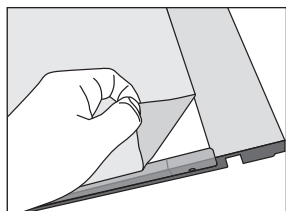
耐荷重について

※下記耐荷重以上の荷重をかけると、商品が破損したり転落したりし、ケガの原因となるおそれがありますのでご注意ください。

商品名	耐荷重
棚板	4kg/枚
カウンター	20kg/枚

施工終了後

ミラータイプには、全面と上部のLアングルに保護テープを貼付けております。
引き渡し前には保護テープを剥がして下さい。



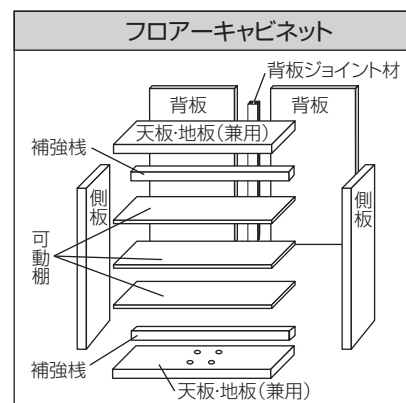
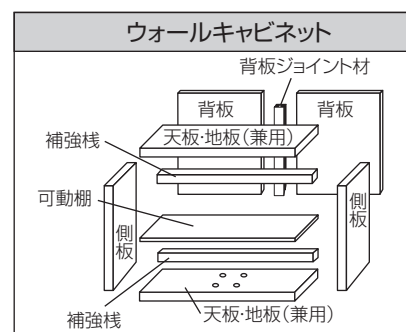
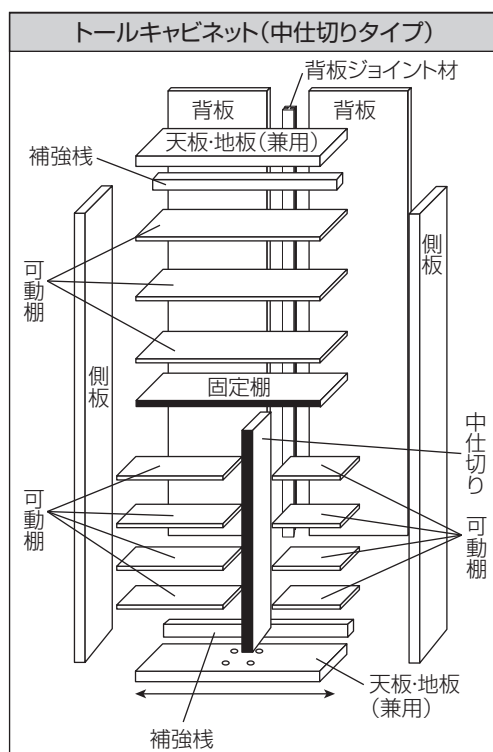
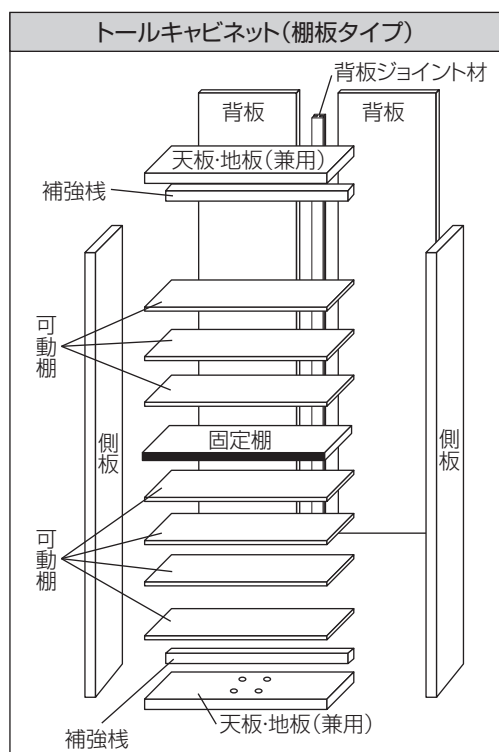
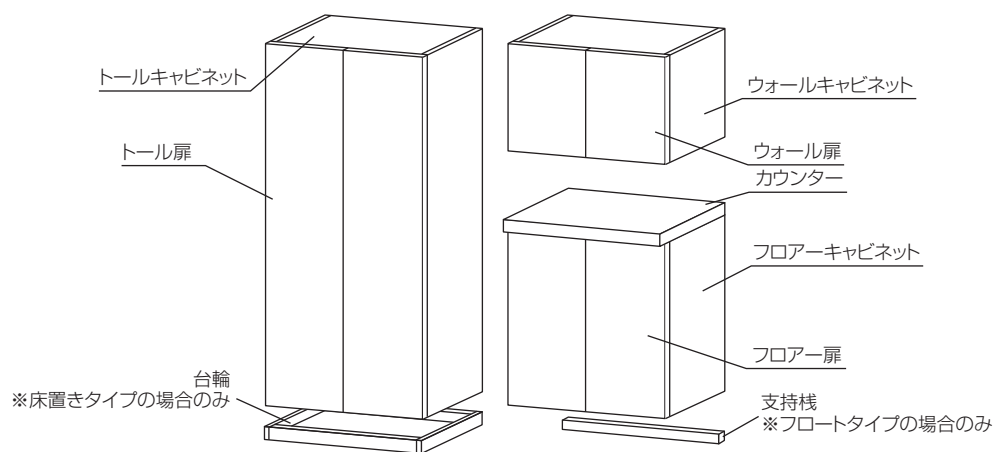
■養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

■お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

パーツ名称



		トールキャビネット W=796mm (棚板タイプ)	トールキャビネット W=796mm (中仕切りタイプ)	トールキャビネット W=398mm	フロアーキャビネット W=1,194mm	フロアーキャビネット W=796mm	ウォールキャビネット W=1,194mm	ウォールキャビネット W=796mm
側板・背板セット	梱包数	1	1	1	1	1	1	1
	種類区分け	①	①	②	③	④	⑤	⑥
天地セット	梱包数	1	1	1	1	1	1	1
	種類区分け	⑦	⑦	⑧	⑧	⑦	⑧	⑦
棚板セット	梱包数	1	1	1	1	1	1	1
	種類区分け	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
中仕切りセット	梱包数	—	1	—	—	—	—	—
合計梱包数		3	4	3	6	3	6	3

※フロアーキャビネット・ウォールキャビネットのW=1,194mmの場合は幅796mmと幅398mmのキャビネットの連結になります。
 ※同じセット部材で種類区分けの○の中の数字が同じものは共通部材になります。

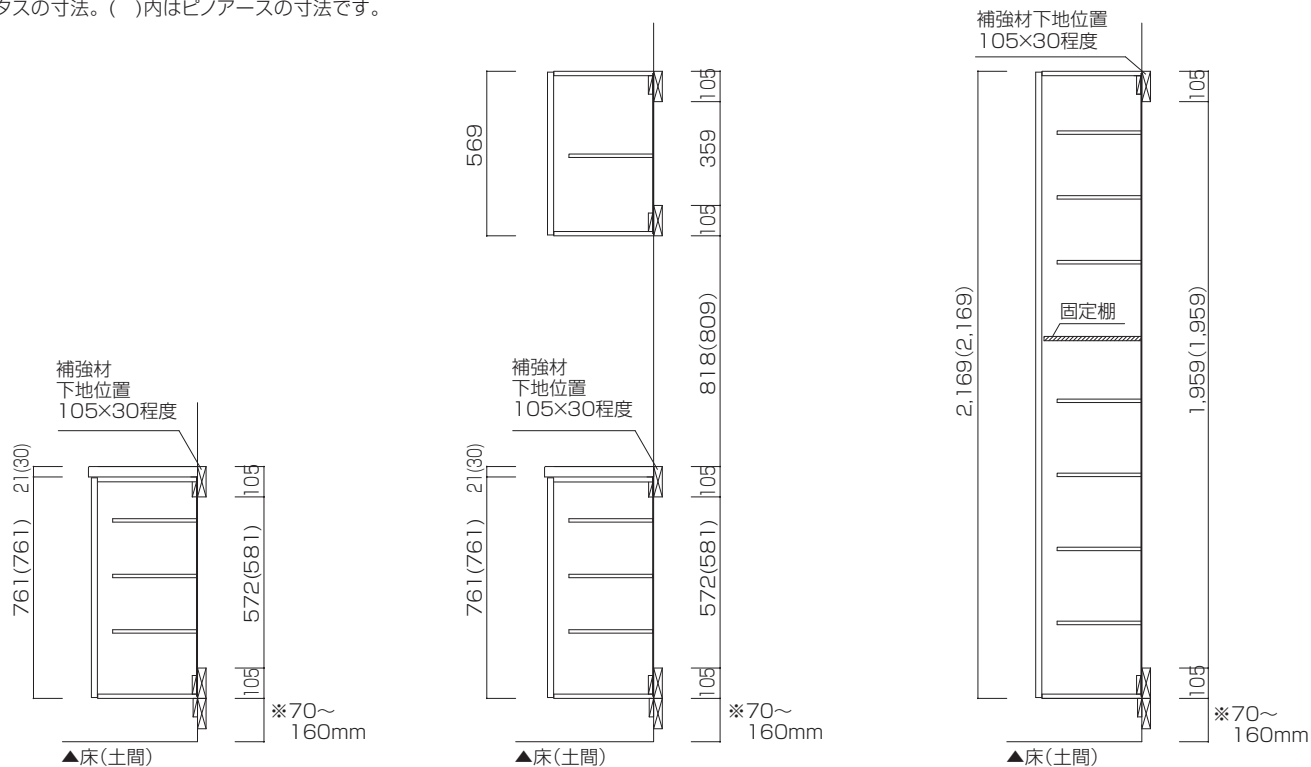
下地処理

玄関収納のキャビネットは壁にビスで固定します。キャビネットに荷物を入れても重量に耐えられるように取り付ける壁下地の補強処理をおこなってください。補強が不十分だとキャビネットが転落するおそれがあります。

※下地用の木桟木は105mm×30mm以上の堅い木を使用してください。

■フロートタイプの場合

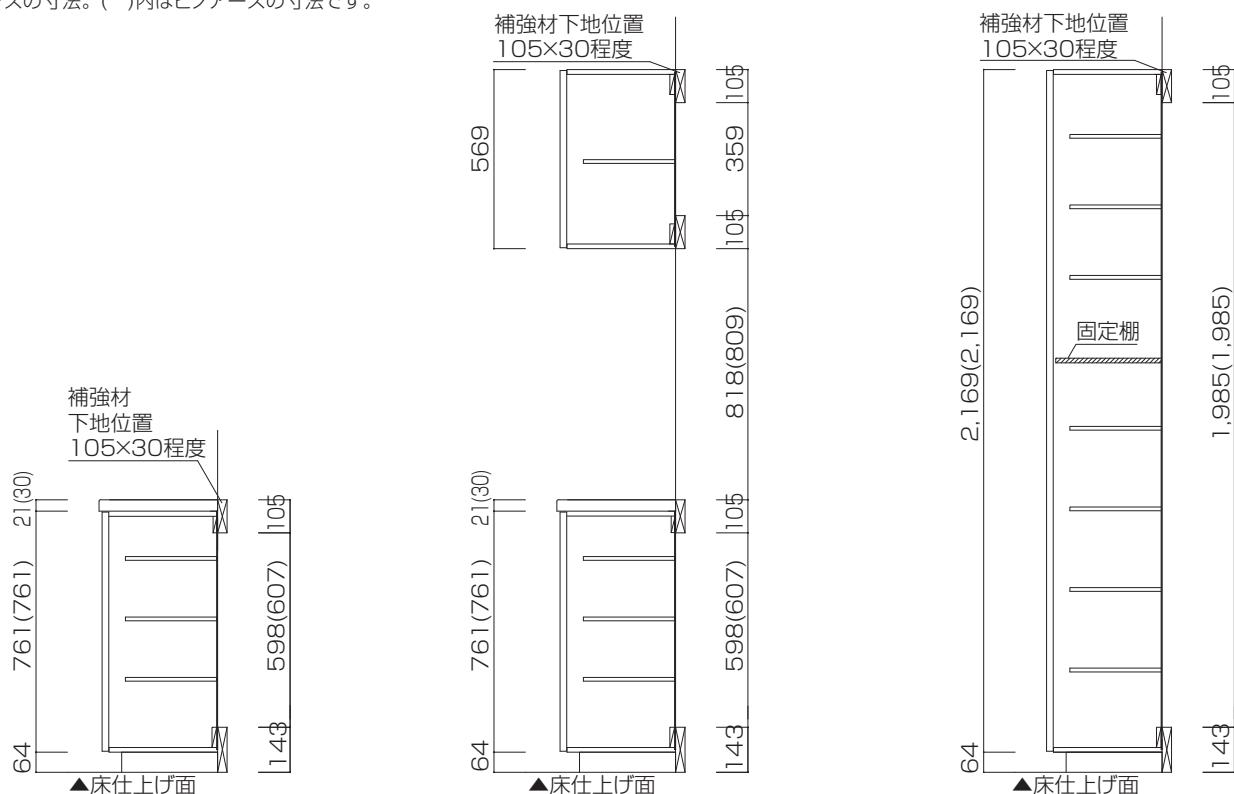
ドレタスの寸法。()内はピノアースの寸法です。



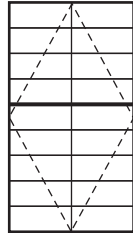
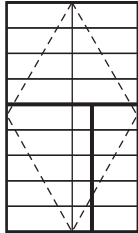
※は参考寸法です。床(土間)からの高さに合わせて下地を入れてください。

■床置きタイプの場合

ドレタスの寸法。()内はピノアースの寸法です。

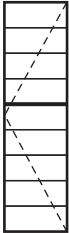
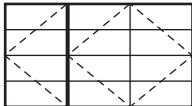
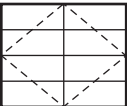
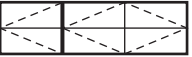
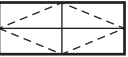


梱包内訳

		トールキャビネット W=796mm(棚板タイプ)		トールキャビネット W=796mm(中仕切りタイプ)	
					
部材名		部材イメージ図(サイズ)			
側板 背板 セット	側板			2枚	2枚
	背板			2枚	2枚
	背板ジョイント材			1本	1本
	固定棚			1枚	1枚
	ミニフィックス本体			8個	8個
	固定棚受け金具			4個	4個
	固定棚受け金具取り付けネジ			4本	4本
	ミニフィックスボルト			8個	8個
	背板用ビス		φ2.3×15	24本	24本
	キャビネット連結ビス		φ3.8×29	4本	4本
	木ダボ		φ8.0	12本	12本
	補強枠固定ビス		φ4.0×50	10本	10本
	座金			6個	6個
	スライド丁番			6個	6個
	クッションダンパー			2個	2個
	取っ手穴かくしキャップ		φ5.0	4個	4個
セ ッ ト	ダボ穴かくしキャップ		φ8.0	12個	12個
	カウンター取り付けビス(キャップ付)		φ3.8×32	—	—
天 地 板	天板・地板(兼用)			2枚	2枚
	補強材			2本	2本
棚 板 セ ッ ト	可動棚(764mm)			7枚	3枚
	可動棚(523mm)			—	4枚
	可動棚(366mm)			—	—
	可動棚(218mm)			—	4枚
	可動棚ダボ			28個	44個
中 仕 切 り 板 セ ッ ト	中仕切り板			—	1枚
	木ダボ		φ8.0	—	4本
カウンター				—	—

支 持 枠	支持枠(ホワイト色)	※フロートタイプの 場合のみ。		φ4.0×50	1本	1本
	支持枠補強ビス				3本	3本
台 輪	台輪側板				2本	2本
	台輪巾木				1本	1本
	台輪枠木				1本	1本
	地板連結ビス45mm(キャップ付)	※床置きタイプの 場合のみ。		φ3.5×45	2本	2本
	台輪用ビスセット ・補強枠ビス50mm ・連結ビス28mm			φ4.0×50	補強枠ビス:3本 連結ビス:1本	補強枠ビス:3本 連結ビス:1本
	木ダボ			φ8.0	8本	8本
	接着剤10g				1本	1本

扉	扉(トール用)			2枚	2枚
	扉(フロアー用)			—	—
	扉(ウォール用)			—	—
取 っ 手	プッシュオープン(ビス同梱) 取っ手なし(プッシュ)の場合	※どちらか選択になります。 ※ビノアースフラットタイプ/ ルーバータイプには取っ手は ありません。		2個	2個
	取っ手(ビス同梱) 取っ手がハンドルの場合			2個	2個
	つまみ(ビス同梱) 取っ手がつまみの場合			2個	2個

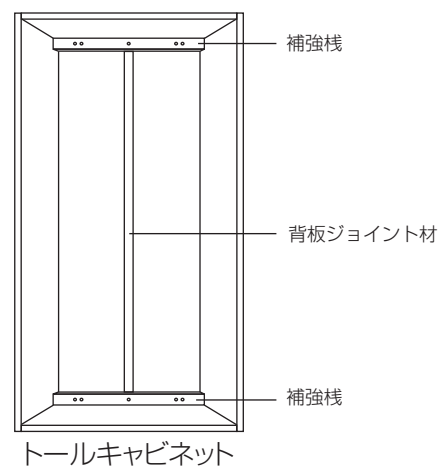
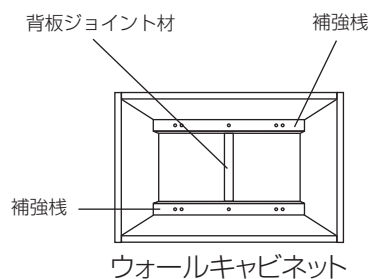
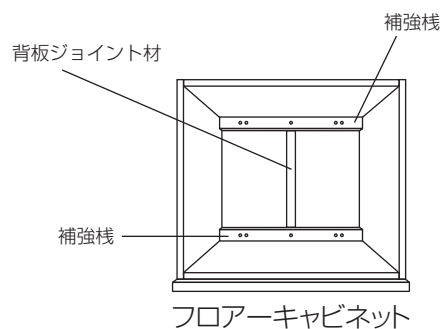
トールキャビネット W=398mm	フロアーキャビネット W=1,194mm		フロアーキャビネット W=796mm	ウォールキャビネット W=1,194mm		ウォールキャビネット W=796mm
	 W=398mm W=796mm			 W=398mm W=796mm		
2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚
1枚	1枚	2枚	2枚	1枚	2枚	2枚
—	—	1本	1本	—	1本	1本
1枚	—	—	—	—	—	—
8個	8個	8個	8個	8個	8個	8個
4個	—	—	—	—	—	—
4本	—	—	—	—	—	—
8個	8個	8個	8個	8個	8個	8個
24本	12本	12本	12本	12本	12本	12本
4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本
12本	12本	12本	12本	12本	12本	12本
4本	4本	10本	10本	4本	10本	10本
3個	2個	4個	4個	2個	4個	4個
3個	2個	4個	4個	2個	4個	4個
1個	1個	2個	2個	1個	2個	2個
2個	2個	4個	4個	2個	4個	4個
—	—	8個	8個	—	8個	8個
—	4本	4本	4本	—	—	—
2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚
2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
—	—	3枚	3枚	—	3枚	1枚
—	—	—	—	—	—	—
7枚	3枚	—	—	1枚	—	—
—	—	—	—	—	—	—
28個	12個	12個	12個	4個	12個	4個
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	1枚		1枚	—		—

1本	1本		1本	—	—	—
2本	5本		3本	—	—	—
2本	2本	2本	2本	—	—	—
1本	1本	1本	1本	—	—	—
1本	1本	1本	1本	—	—	—
2本	2本	2本	2本	—	—	—
補強棧ビス:2本 連結ビス:1本	補強棧ビス:2本 連結ビス:1本	補強棧ビス:3本 連結ビス:1本	補強棧ビス:3本 連結ビス:1本	—	—	—
8本	8本	8本	8本	—	—	—
1本	1本	1本	1本	—	—	—

1枚	—	—	—	—	—	—
—	1枚	2枚	2枚	—	2枚	—
—	—	—	—	1枚	—	2枚
1個	1個	2個	2個	1個	2個	2個
1個	1個	2個	2個	1個	2個	2個
1個	1個	2個	2個	1個	2個	2個

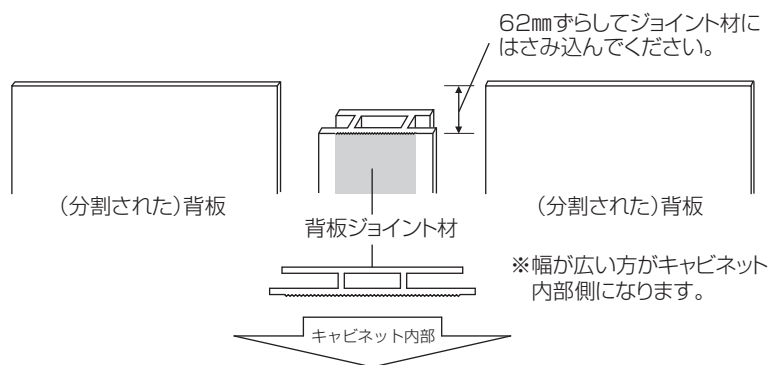
施工手順

■ 幅796mmキャビネット組み立て前の準備



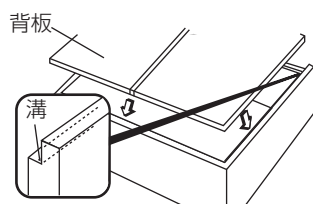
背板のジョイント

(1) 分割された背板に背板ジョイント材はさみ込みます。(接着の必要はありません。)

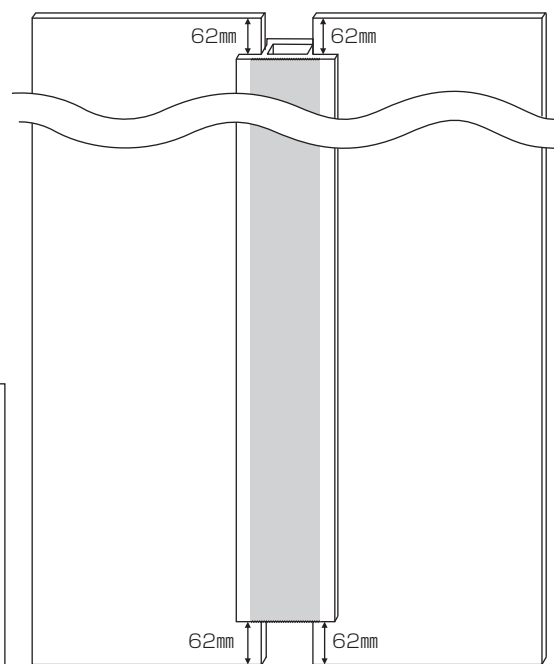
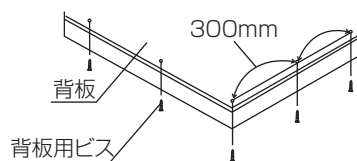


背板の取り付け

(2) 側板に切り込んである溝に背板をはめ込みます。



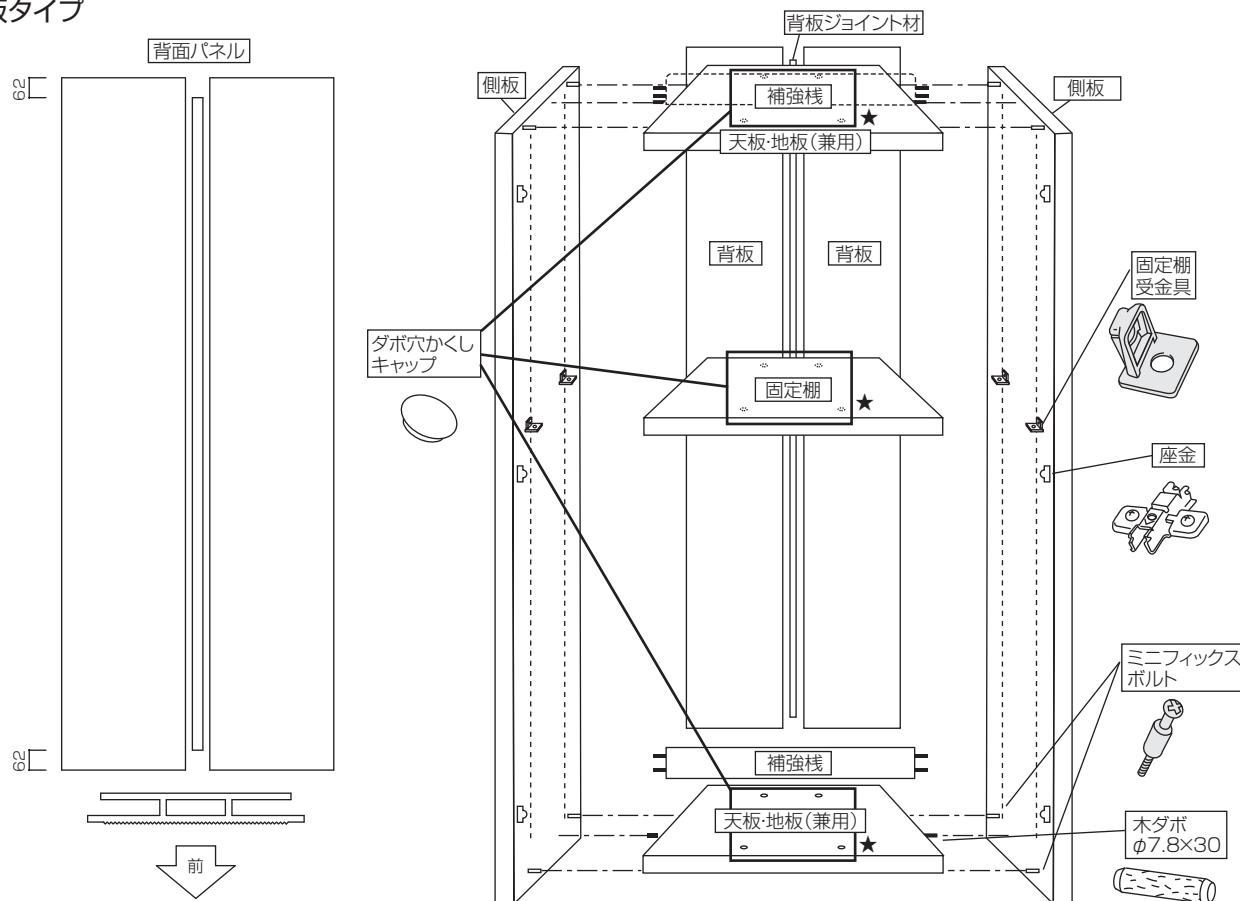
(3) 背板の外側から約5mmの位置に背板止め用の木ネジを約300mm間隔で打ち込みます。仕上がりきれいにするために、木ネジを天板・地板・側板側に少し斜めに打ち込んでください。



背板の完成です。

ツールキャビネットパーツ全体イメージ

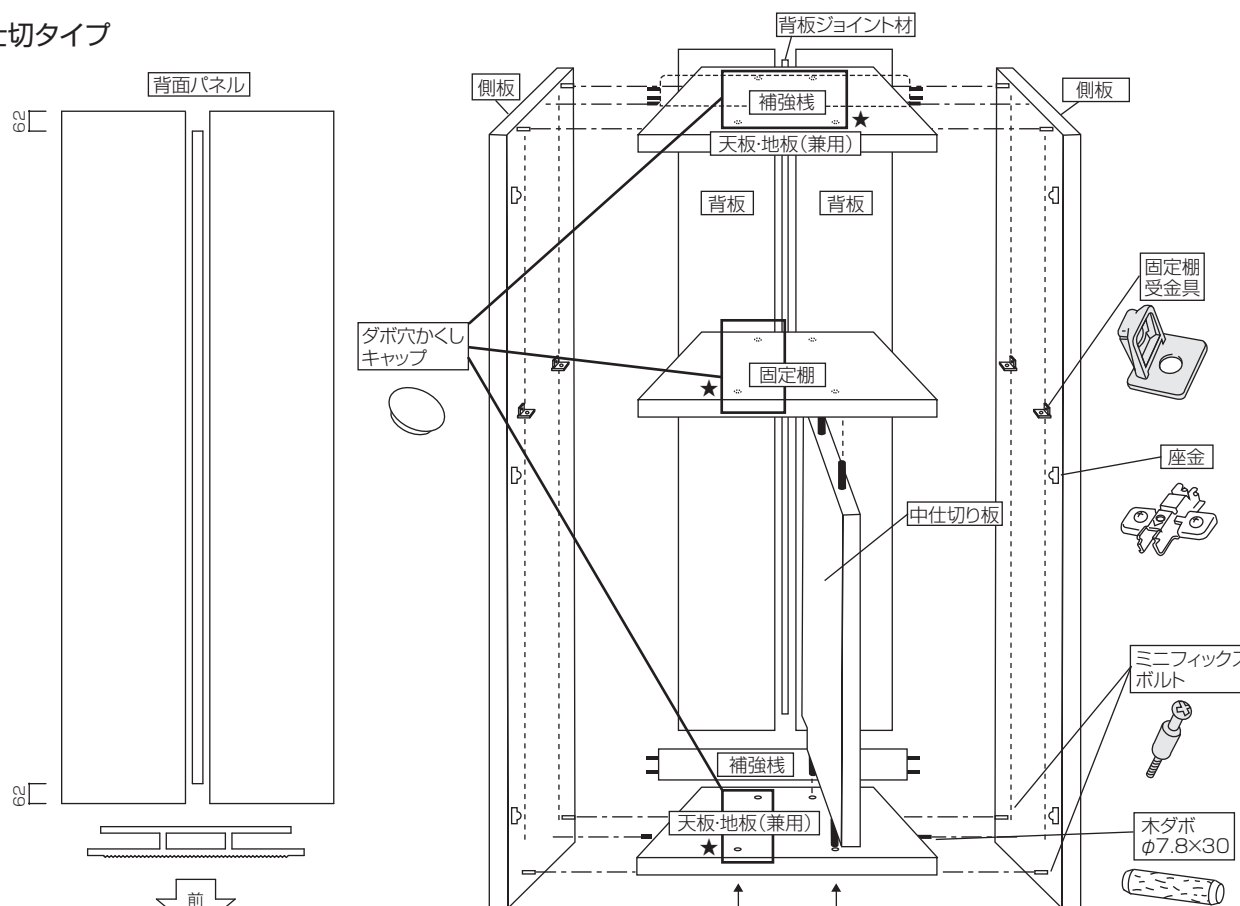
棚板タイプ



※可動棚は表示していません。

★天板・固定棚のダボ穴かくしキャップは裏面に取り付けてください。

中仕切タイプ



※可動棚は表示していません。

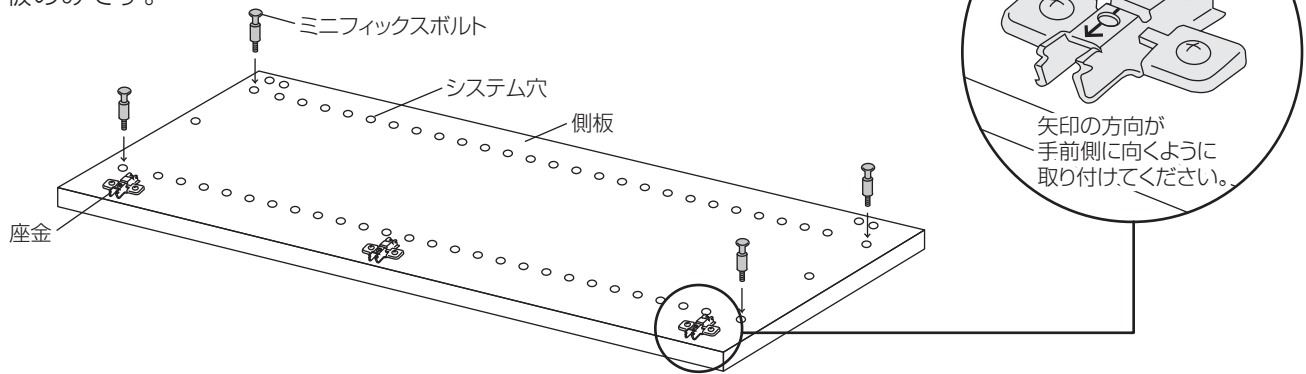
※中仕切り板は左右選択できます。

★天板・固定棚のダボ穴かくしキャップは裏面に取り付けてください。

■トールキャビネットの組み立て

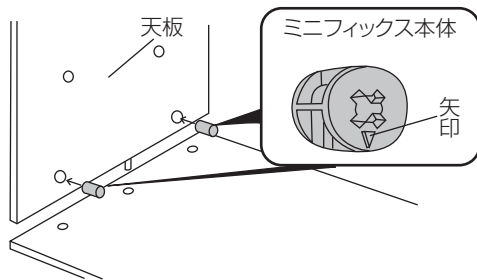
(1) 左右の側板に座金と、ミニフィックスボルトを取り付けます。

ミニフィックスボルトは側板のシステム穴の一番上側2カ所と、一番下側2カ所に取り付けます。幅398mmタイプの場合は、座金の取り付けは吊り元側の側板のみです。

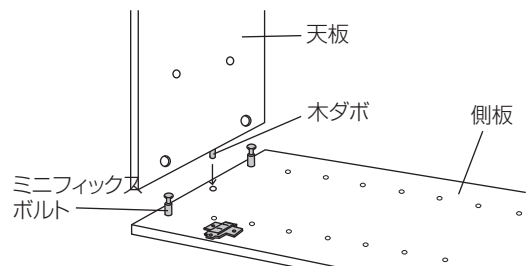


(2) 天板に木ダボを取り付けます。

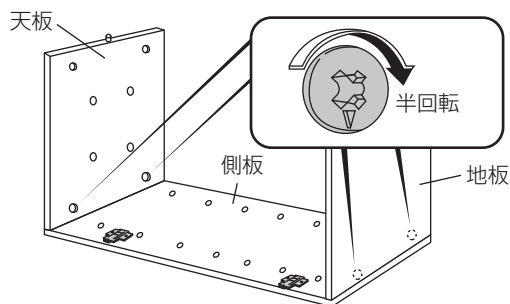
次にミニフィックス本体の矢印が木口の穴が空いている方へ合わせて取り付けます。



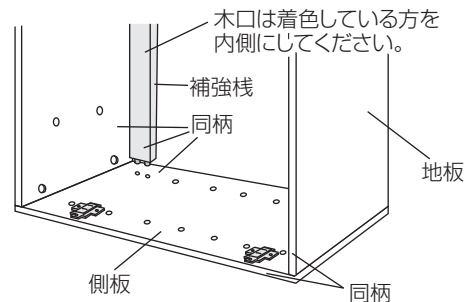
(3) 左右の側板どちらかを床に置き、天板の穴のあいている面が内側になるようにして、側板のミニフィックスボルトと天板の木ダボに合わせて差し込みます。



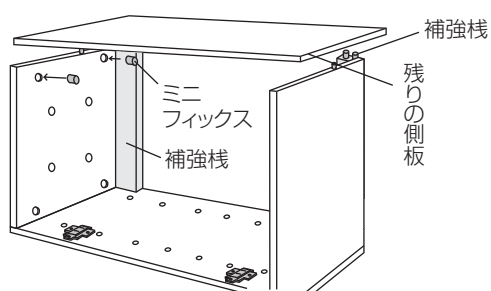
(4) プラスドライバーで、各々のミニフィックス本体を時計回りに約半回転まわして固定します。



(5) 補強線をキャビネットの上下に、取り付け用のダボ穴に合わせて差し込みます。表と裏を確認してセットしてください。

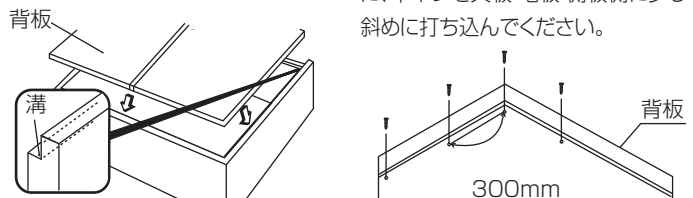


(6) 残りの側板をミニフィックスボルトと木ダボに合わせて差し込んで取り付け、(4)、(5)と同様にミニフィックス本体を固定します。



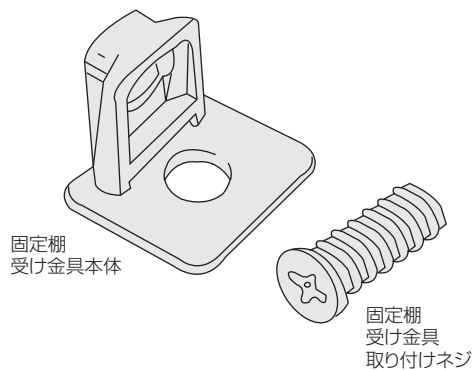
背板の取り付け

- (1) 2枚の背板をジョイント材を使用し、1枚に組み合わせます。
- (2) 側板に切り込んである溝に背板をはめ込みます。
- (3) 背板の外側から約5mmの位置に背板用ビスを約300mm間隔で打ち込みます。仕上がりをきれいにするために、木ネジを天板・地板・側板側に少し斜めに打ち込んでください。

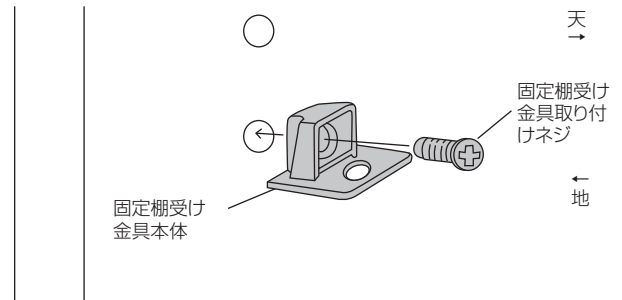


■トールキャビネットの固定棚の取り付け

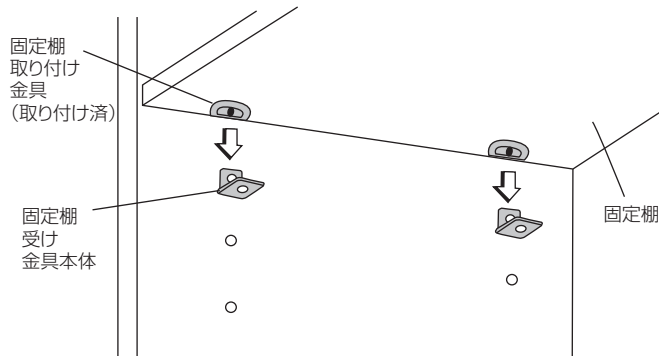
使用する部品



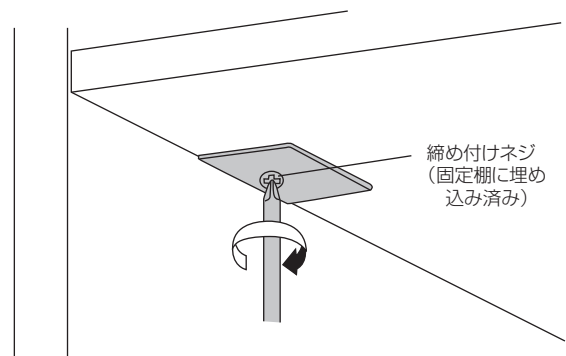
(1) 固定棚受け金具本体を同梱の固定棚受け金具取り付けネジでシステム穴を利用して取り付けます。



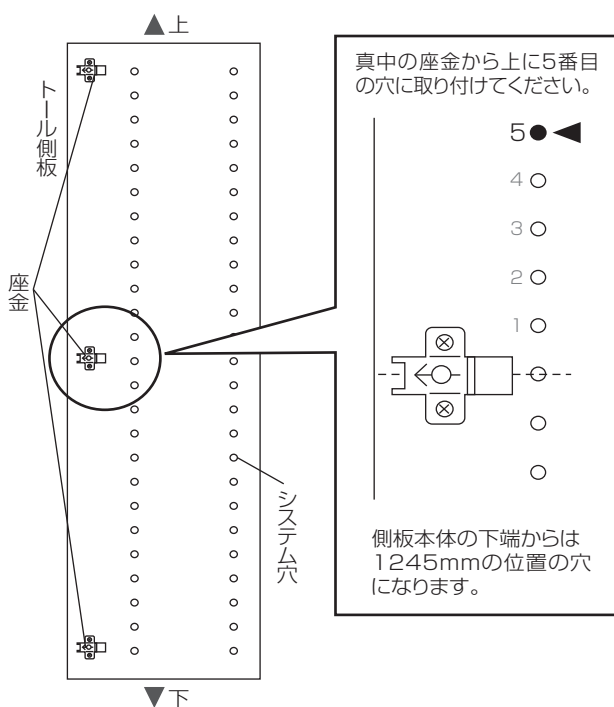
(2) 固定棚受け金具本体と固定棚側の取り付け金具とがかみ合うように、上側から固定棚を差し込みます。



(3) 下側から固定棚側のネジを半回転まわして固定します。

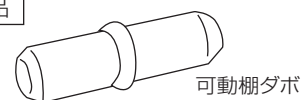


固定棚の取り付け位置

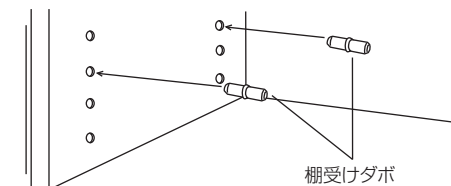


■可動棚の取り付け(全キャビネット共通)

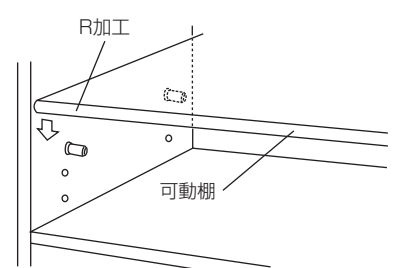
使用する部品



可動棚ダボを側板のシステム穴に差し込みます。



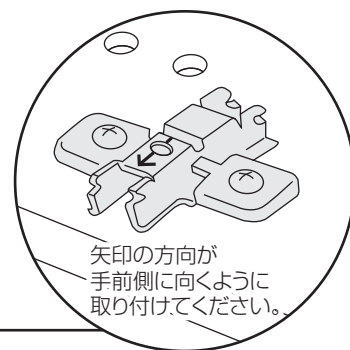
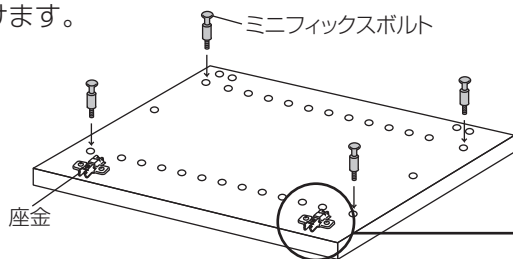
可動棚ダボの上に可動棚をセットします。
(R加工をしている方を手前にしてください。)



■フロアーキャビネットの組み立て

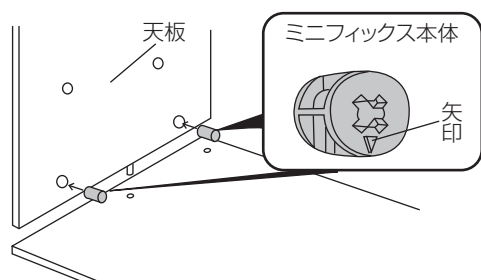
(1) 左右の側板に座金と、ミニフィックスボルトを取り付けます。

ミニフィックスボルトは側板のシステム穴の一番上側2カ所と、一番下側2カ所に取り付けます。

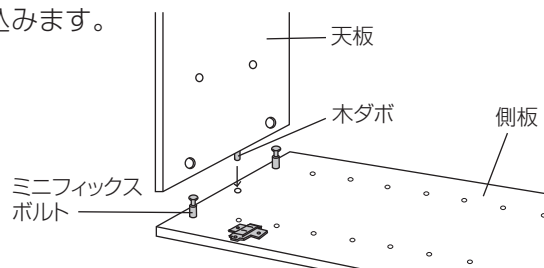


(2) 天板に木ダボを取り付けます。

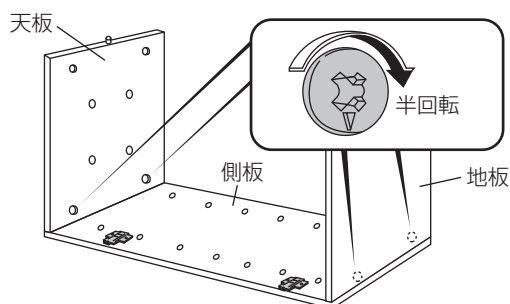
次にミニフィックス本体の矢印が木口の穴が空いている方へ合わせて取り付けます。



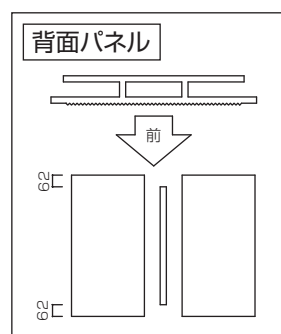
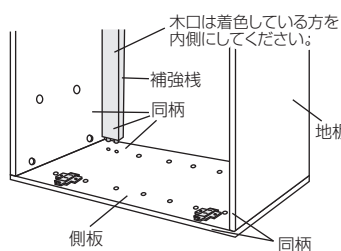
(3) 左右の側板どちらかを床に置き、天板の穴のあいている面が内側になるようにして、側板のミニフィックスボルトと天板の木ダボに合わせて差し込みます。



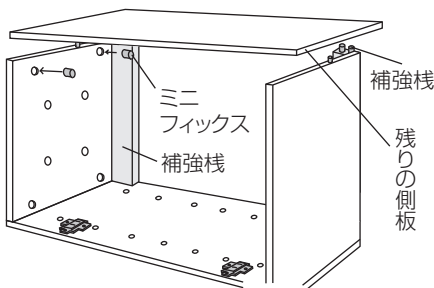
(4) プラスドライバーで、各々のミニフィックス本体を時計回りに約半回転まわして固定します。



(5) 補強線をキャビネットの上下に、取り付け用のダボ穴に合わせて差し込みます。表と裏を確認してセットしてください。

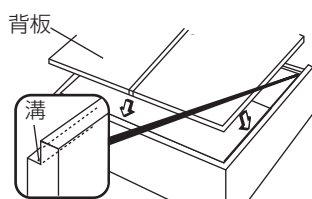


(6) 残りの側板をミニフィックスボルトと木ダボに合わせて差し込んで取り付け、(4)、(5)と同様にミニフィックス本体を固定します。

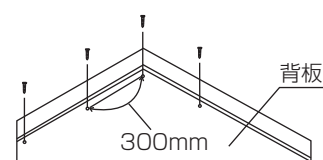


背板の取り付け

(1) 背板とジョイントを組み合わせます。
(2) 側板に切り込んである溝に背板をはめ込みます。

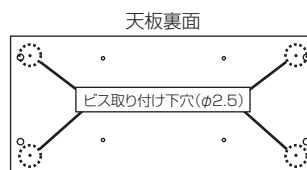


(3) 背板の外側から約5mmの位置に背板用ビスを約300mm間隔で打ち込みます。仕上がりきれいにするために、木ネジを天板・地板・側板側に少し斜めに打ち込んでください。



※背板・補強線の取り付けはP2をご参照して下さい

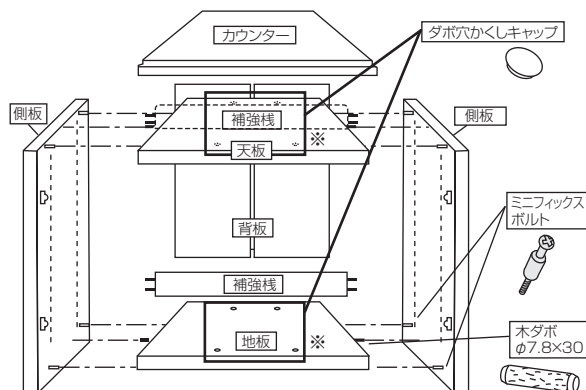
フロアーキャビネット



注意

・カウンターは別途梱包となっております。
・カウンターは天板の裏面より4ヶ所のビス止めとなります。
・カウンターは表裏面がありますので取り付けの際にはご注意ください。

表面

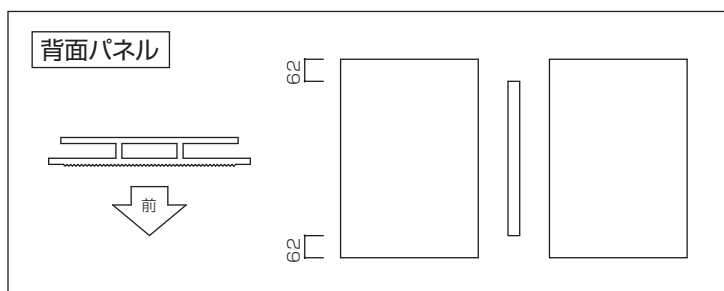
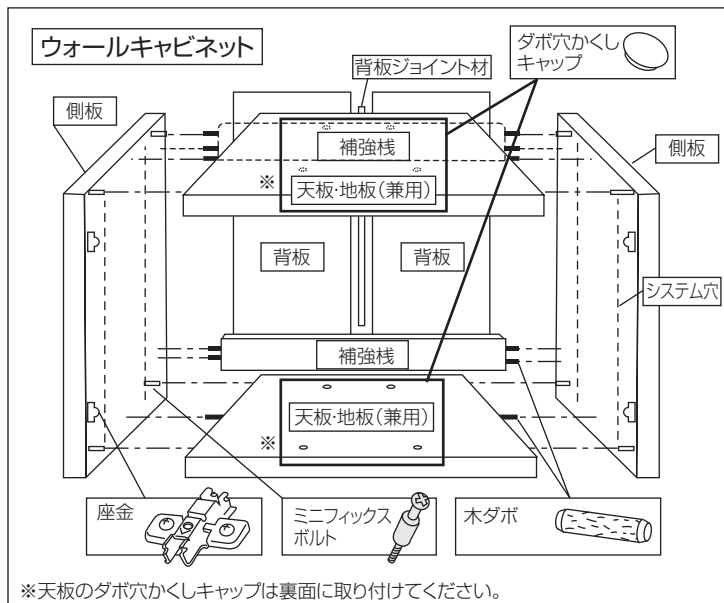
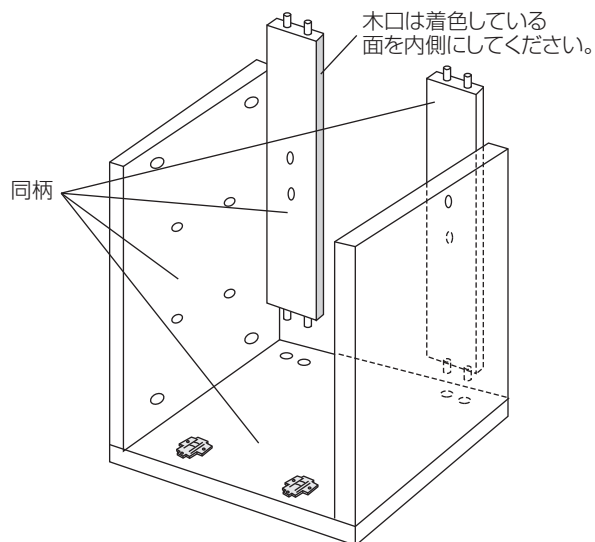


※天板のダボ穴かくしキャップは裏面に取り付けてください。

■ウォールキャビネットの組み立て

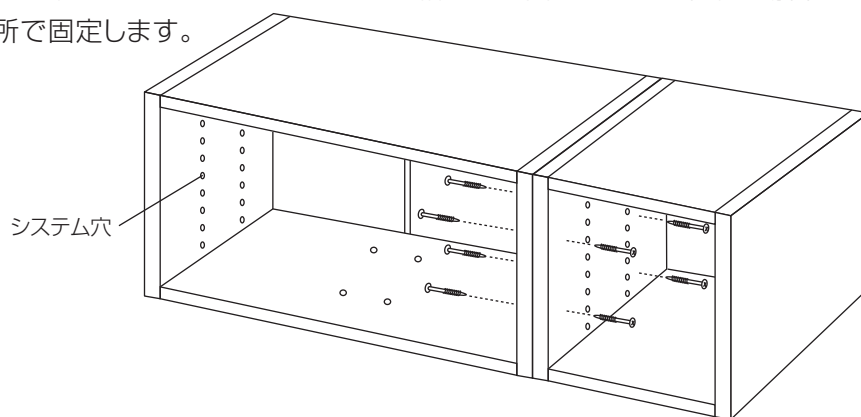
フロアーキャビネットと同様の手順で組み立ててください。

- (1) 補強棧の表面シート柄は側板、天板のシート柄と同柄となります。



キャビネットの連結

個々に組み立てたキャビネットを連結ビスで固定します。片扉の場合は左右勝手を確認の上両側から計8ヶ所で固定します。

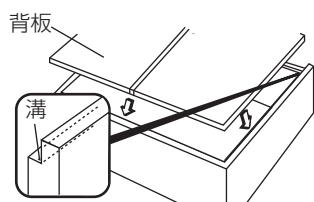


⚠ 注意

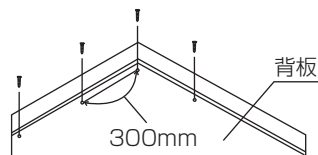
固定の際にはシステム穴を避けて下穴を開けてビスを固定してください。

背板の取り付け

- (1) 背板とジョイントを組み合わせます。
(2) 側板に切り込んである溝に背板をはめ込みます。



- (3) 背板の外側から約5mmの位置に背板用ビスを約300mm間隔で打ち込みます。仕上がりをきれいにするために、木ネジを天板・地板・側板側に少し斜めに打ち込んでください。

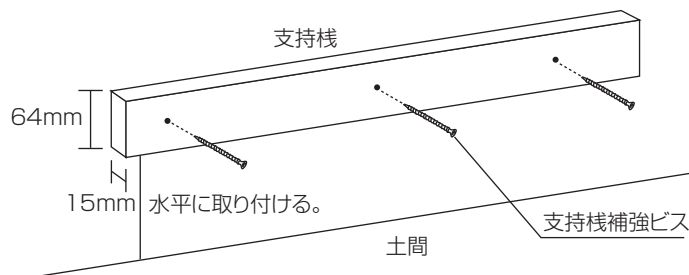


※背板・補強棧の取り付けはP2をご参照して下さい

壁面への固定

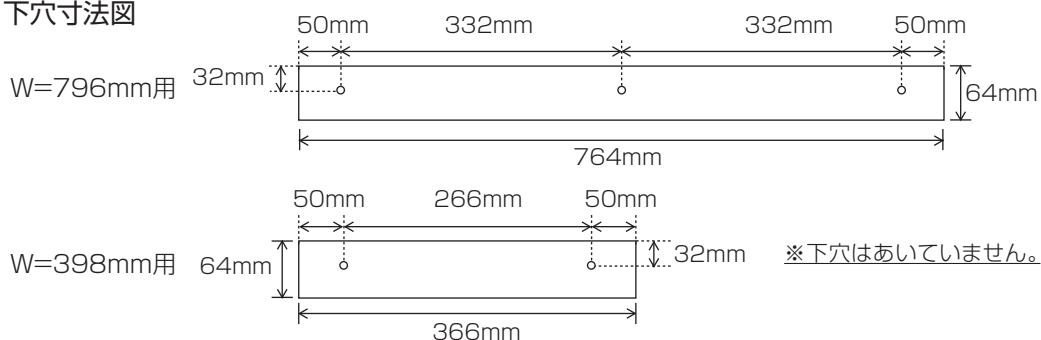
■フロートタイプの場合

支持棧の水平を確認して取り付けビスで壁面に固定してください。

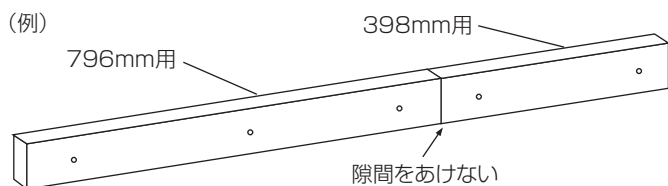


下図の寸法位置に下穴をあけ、支持棧補強ビスを打ち込んでください。

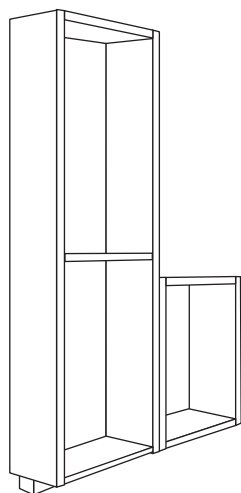
下穴寸法図



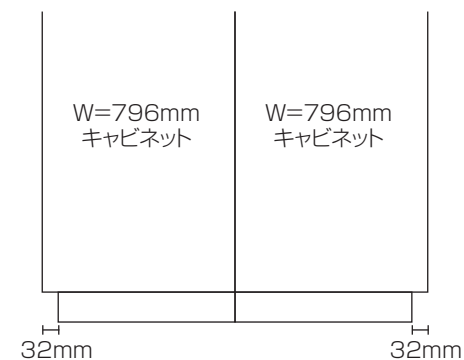
キャビネットが2つ以上並ぶ場合は接合部をしっかり密着させて連結させてください。



キャビネットを支持棧の上に乗せ、下地を施工した場所へビス固定をしてください。



例) W=796mmキャビネットを2つ連結させる場合

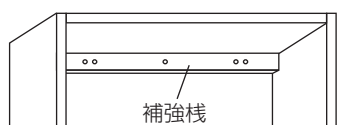


キャビネットを2つ以上連結させる場合は、支持棧を中心に合わせ、左右均等にクリアランスをとるように施工してください。

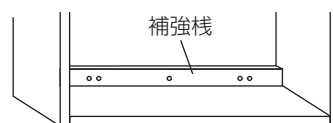
⚠ 注意

危険ですのでトール・ウォールキャビネットの取り付けは2人以上でおこなってください。

補強棧の壁への取付



W=796mm用 計5ヶ所をビス止めします。



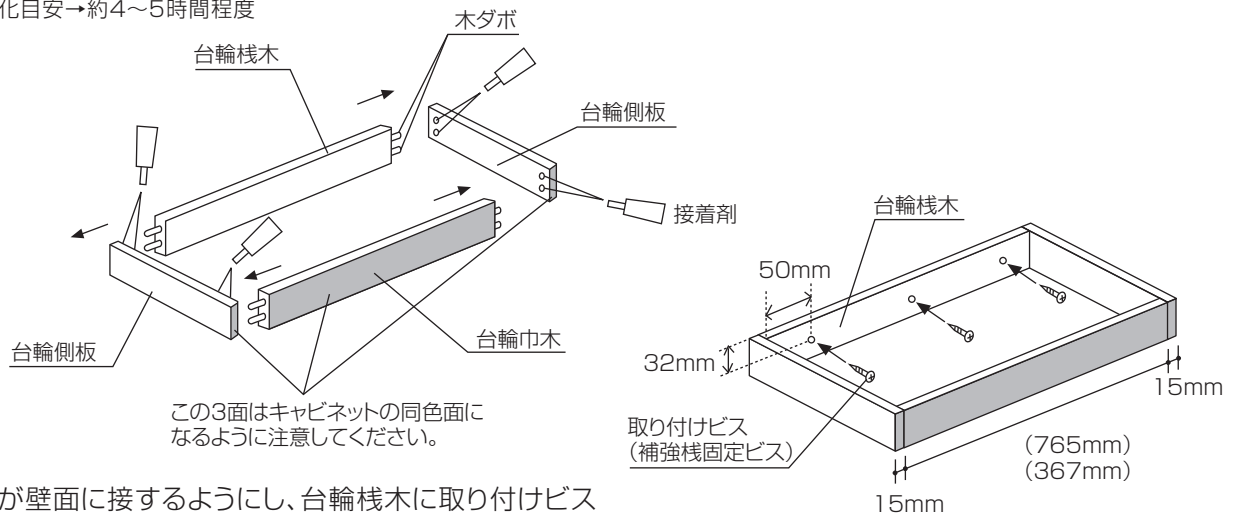
キャビネット下部も計5ヶ所ビス止めします。

■床置きタイプの場合

台輪側板のダボ穴に同梱の接着剤を適量塗布し組み立ててください。

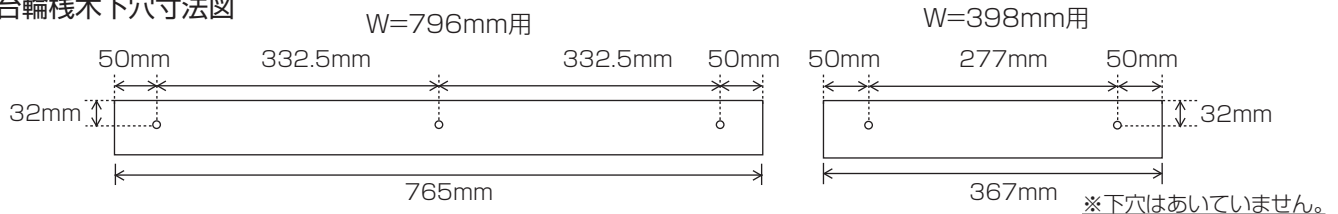
※接着剤がはみ出さないように注意してください。接着剤を塗布したらすぐに組み立ててください。

接着剤の硬化目安→約4～5時間程度



台輪棧木が壁面に接するようにし、台輪棧木に取り付けビス (補強棧固定ビス) を図の位置に固定してください。

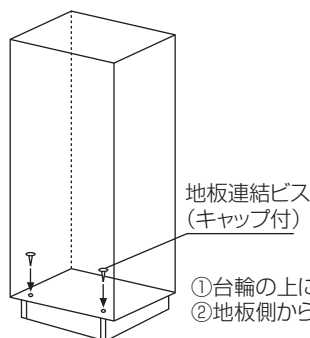
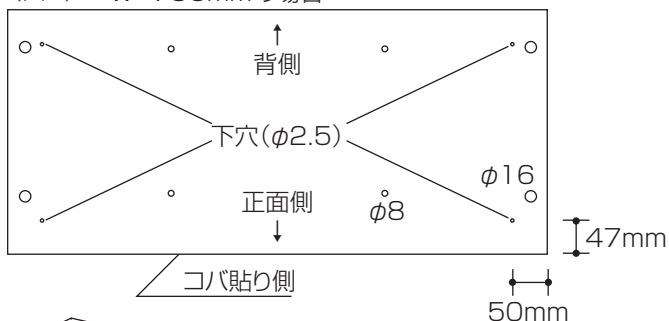
台輪棧木下穴寸法図



台輪の上部にキャビネットをのせて地板の(図1)の位置に地板連結ビスで連結してください。

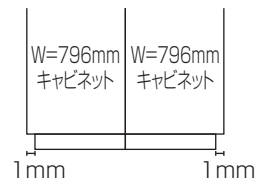
その後に、壁面下地の位置にキャビネットを固定してください。

(図1) W=796mmの場合



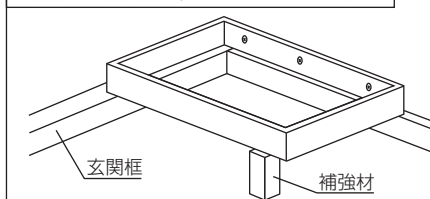
- ①台輪の上にキャビネットをのせる
- ②地板側から連結させる。

例) W=796mmキャビネットを2つ連結させる場合



キャビネットを2つ以上連結させる場合は、台輪を中心に合わせ、左右均等にクリアランスをとるように施工してください。

玄関框に台輪が少しだけかかる場合

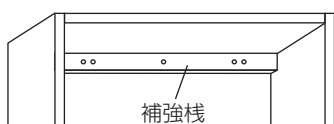


キャビネットをのせる前に荷重で台輪が壊れないように施工が終わるまで補強材 (現場調達) をつけておいてください。

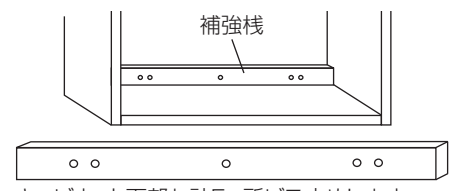
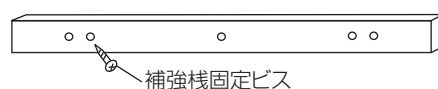
⚠ 注意

危険ですのでツール・ウォールキャビネットの取り付けは2人以上でおこなってください。

補強棧の壁への取付



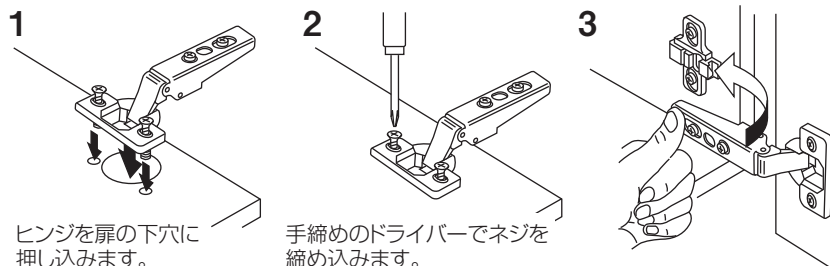
W=796mm用 計5ヶ所をビス止めします。



キャビネット下部も計5ヶ所ビス止めします。

扉の取り付け・調整方法

■扉の取付け(スライド丁番の取付け)



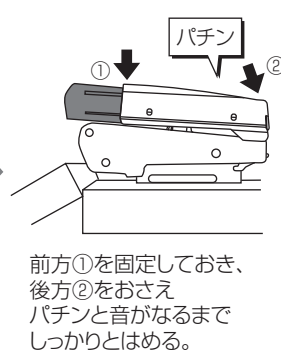
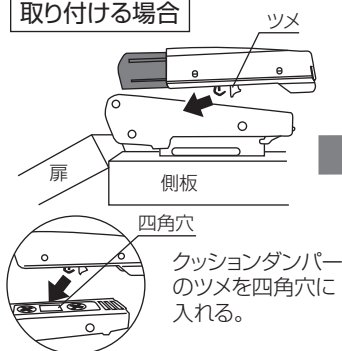
扉をキャビネットに取付けるにはヒンジアームの前部を先に合わせ座金に軽く指で押すだけです。

⚠ 注意

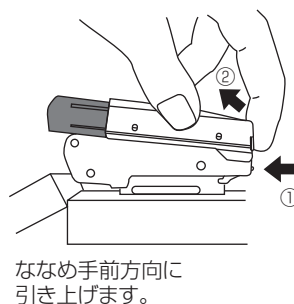
扉にヒンジを取り付ける際には、インパクトドライバーを使用しないでください。

■クッションダンパーの着脱

取り付ける場合



取りはずす場合



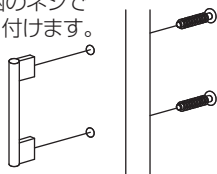
⚠ 注意

無理な脱着は、部品破損原因になります。

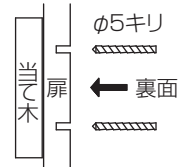
■取手の取付け(掘込取手の場合は除きます)

●ハンドルの場合

同梱のネジで取り付けます。



穴を貫通させる場合

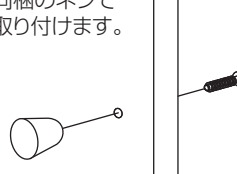


⚠ 注意

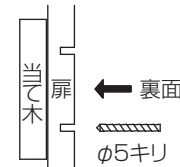
- ①穴を貫通させる場合は、扉表面に当て木をして、バリ発生を防いでください。
- ②扉が左右兼用の場合、取手が付かない方の穴は同梱の取っ手穴かしキャップをはめて穴をふさいでください。

●つまみの場合

同梱のネジで取り付けます。



穴を貫通させる場合



⚠ 注意

- ①穴を貫通させる場合は、扉表面に当て木をして、バリ発生を防いでください。
- ②扉が左右兼用の場合、取手が付かない方の穴は同梱の取っ手穴かしキャップをはめて穴をふさいでください。

■扉の調整(スライドヒンジの調整)

扉の左右調整

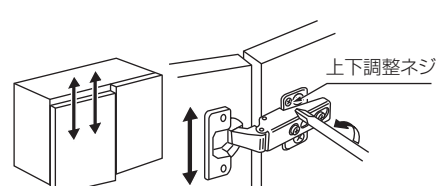
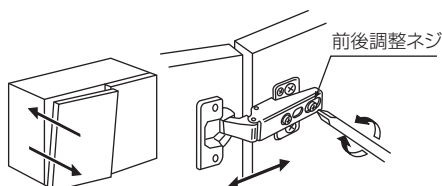
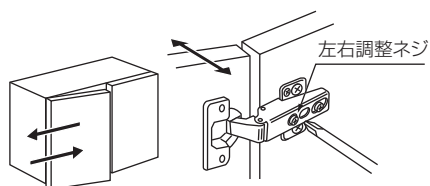
- ◆左右調整ネジを回して左右調整してください。
アジャスト量:扉の内方向4mm

扉の前後調整

- ◆前後調整ネジを回して前後調整をして下さい。
アジャスト量:扉の前方向1.5mm
扉の後方向1.5mm(合計3mm)

扉の上下調整

- ◆(座金により移動が可能です)
上下調整ネジを回して上下調整して下さい。
アジャスト量:扉の上方向2.5mm
扉の下方向2.5mm(合計5mm)



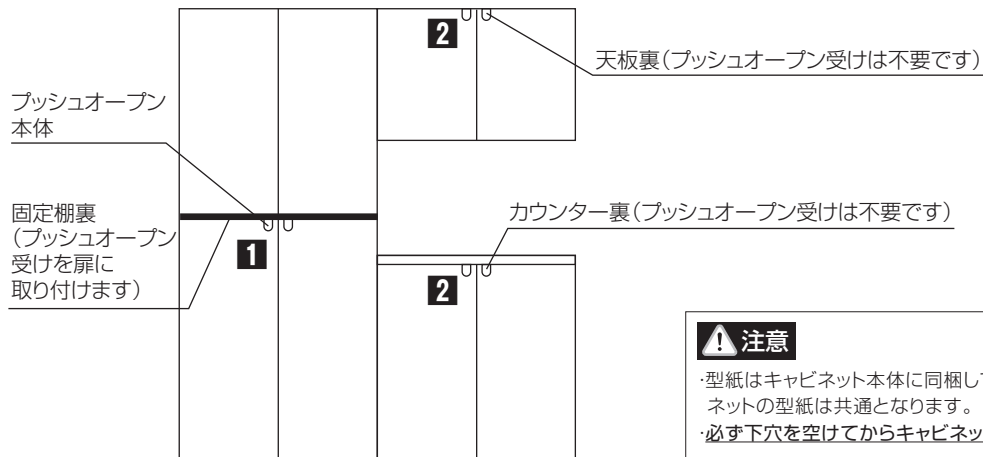
⚠ 注意

調整ネジの調整はインパクトドライバーは使用しないでください。
調整ネジの破損の原因になりますので必ず手締めドライバーで調整してください。

7. オプション部材

■ プッシュオープン ※ピノアースシリーズは対応しておりません。

固定棚(トール)・天板(ウォール)・カウンター(フロアー)にプッシュオープン本体を取り付けます。



⚠ 注意

プッシュオープン受けは固定棚裏のみ取り付けます。天板裏・カウンター裏にはプッシュオープン受けは不要です。

⚠ 注意

・型紙はキャビネット本体に同梱しております。トール・フロア・ウォールキャビネットの型紙は共通となります。
・必ず下穴を空けてからキャビネット本体の組み立てをおこなってください。

1 トールキャビネット 固定棚の裏面にに取り付けて下さい。

(1) 型紙を使用してプッシュオープン取り付け位置に下穴をあけてください。

参照 型紙の使い方

型紙図面

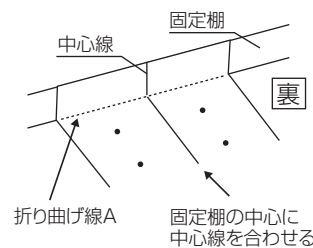
注 玄関収納施工説明書に明記している型紙の使い方と下穴寸法を確認して下穴を空けて下さい。



⚠ 注意

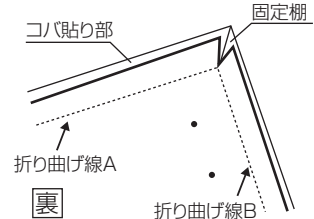
トール片開きの場合は、固定棚を取り付けた後、プッシュオープン本体を取り付けてください。

W=796mm(両開き)の場合



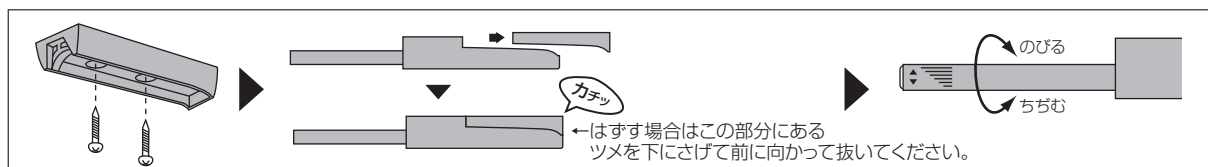
W=398mm(片扉)の場合

※取り付ける前に穴あけ



(2) 下穴の位置に合わせてプッシュオープン本体を取り付けます。

型紙を使用してあけた下穴にプッシュオープン本体を同梱の取り付けビスで固定させます。

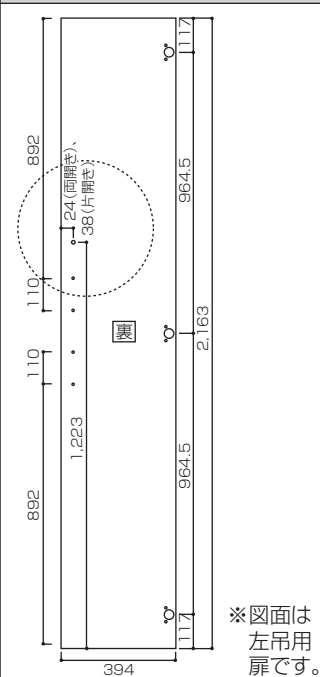


⚠ 注意

5mm
固定棚
2.6mm
以上
プッシュオープンの先端を2.6mm以上出して取り付けてください。プッシュオープンがうまく作動しない場合は下記調整を行ってください。

プッシュオープン受け取り付け用 下穴位置参照図面

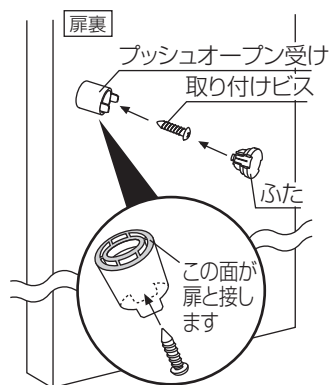
トール扉



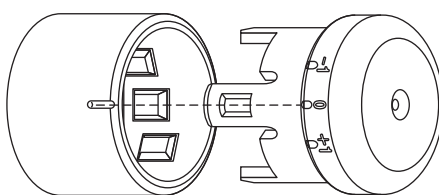
(3) 扉の裏側にプッシュオープン受けを取り付ける。

※参照図面で位置を確認して下穴(φ2.5)を開けてプッシュオープン受けを取り付けてください。

戸先側(丁番と逆方向)に
下穴をあけてください。

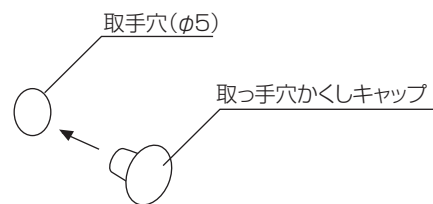


ふたを取り付ける際に下図のようにOの位置に
合わせてはめてください。



※1
プッシュオープンの
強弱を調整する場合
0…通常
-1…1mm低くなる
+1…1mm高くなる

(4) 扉裏の取っ手取り付け用の加工穴 (半貫通)に、穴隠しキャップを取り付ける。 (プッシュオープンにした場合、 取っ手は取り付けないため)



2 フロアーキャビネット・ウォールキャビネット 天板の裏面にに取り付けて下さい。

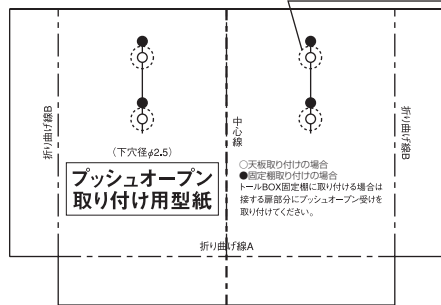
(1) 型紙を使用してプッシュオープン取り付け位置に下穴をあけてください。

参照 型紙の使い方

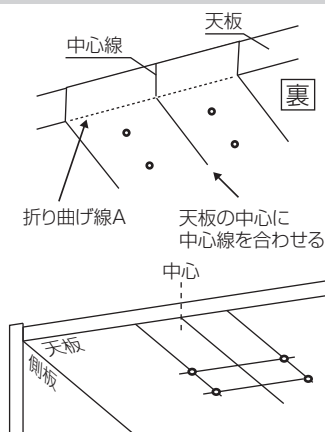
型紙図面

注 玄関収納施工説明書に明記している型紙の使い方と
下穴寸法を確認して下穴を開けて下さい。

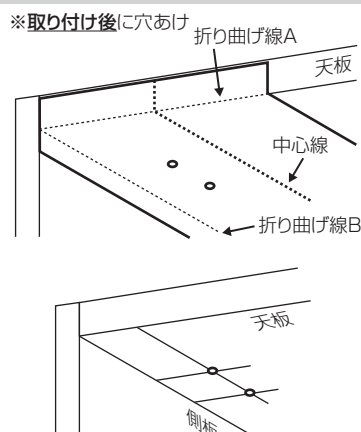
○部分を使用します



W=796mm(両開き)の場合

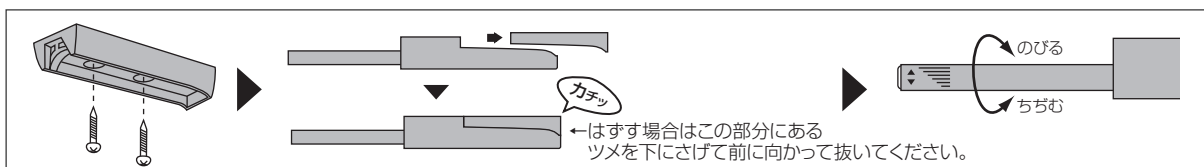


W=398mm(片扉)の場合



(2) 下穴の位置に合わせてプッシュオープン本体を取り付けます。

型紙を使用してあけた下穴にプッシュオープン本体を同梱の取り付けビスで固定させます。



注意

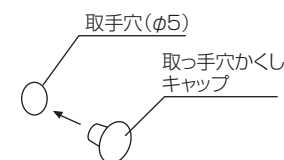


プッシュオープンの先端を天板および側板から2.6mm以上出して
取り付けてください。プ
ッシュオープンがうまく
作動しない場合は下記
調整を行ってください。

(3) 扉裏の取っ手取り付け用の加工穴(半貫通)に、穴隠しキャップを取り付ける。 (プッシュオープンにした場合、取っ手は取り付けないため)

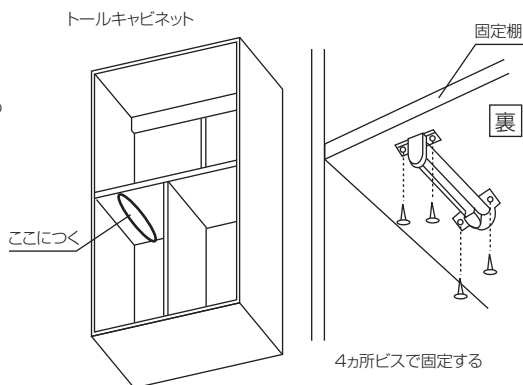
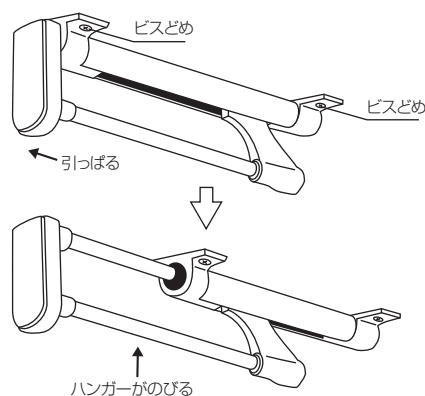
注意

扉1枚に対し、取っ手取り付け用の加工穴
(半貫通)は4ヶ所空いています。

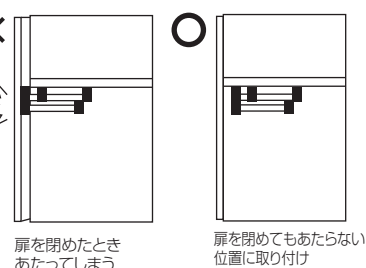


■ コート収納 (スライドコートハンガー)

耐荷重 8kg/本



セット内訳	
スライドコートハンガー本体	1個
スライドコートハンガー取り付けビス	4本



同梱のビスで4カ所トルクキャビネットの固定棚に取り付けます。

※必ず下穴(φ2.5)をあけてからビスを打ち込んでください。

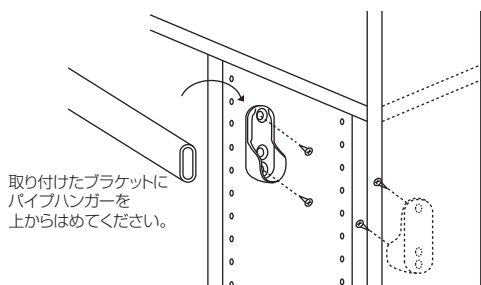
⚠ 注意

スライドコートハンガーを納めた状態で扉の開閉に支障をきたさない場所に取り付けてください。

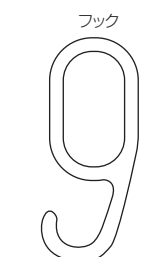
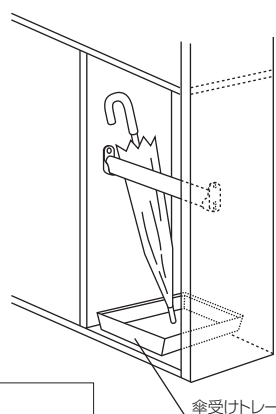
■ 傘収納 (傘受けトレイ・フック)

耐荷重 傘専用
※傘以外のものは収納しないでください。

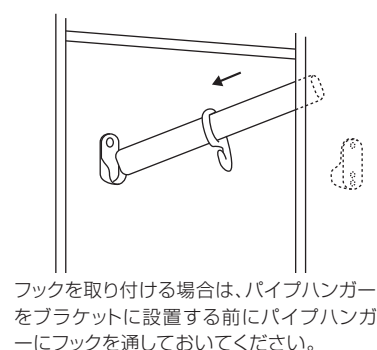
※セット品ではありません。
必要な部品を組み合わせでご使用ください。



パイプハンガーブラケットを任意の位置に同梱のビスで取り付けてください。



耐荷重 1.5kg



フックを取り付ける場合は、パイプハンガーをブラケットに設置する前にパイプハンガーにフックを通しておいてください。

⚠ 注意

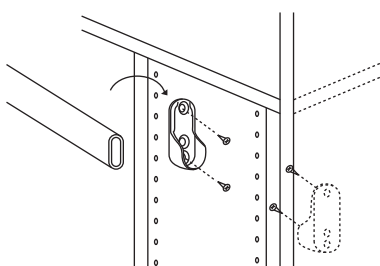
ブラケットの高さは左右対象で同じ高さに取り付けてください。ブラケットの取り付けは、システム穴の位置を避けてください。ビス取り付けの前に下穴(φ2.5)をあけてください。

⚠ 注意

傘を収納する際は十分に乾かしてから収納してください。

■ ブーツハンガー (パイプハンガーセット・フック)

耐荷重 20kg/本

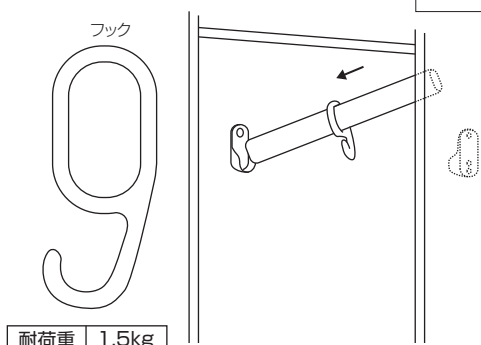


取り付けられたブラケットにパイプハンガーを上からはめてください。ブラケットを任意の位置に同梱のビスで取り付けてください。

⚠ 注意

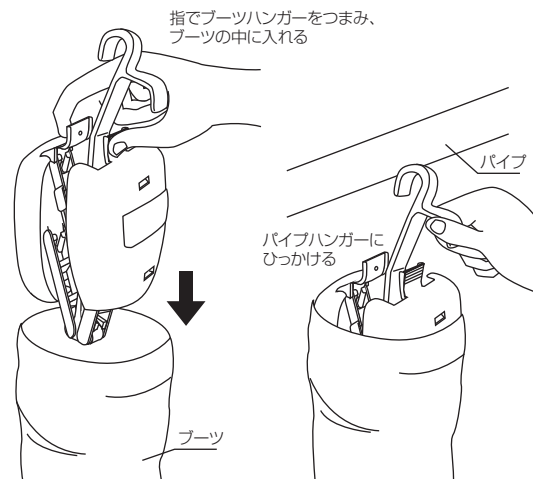
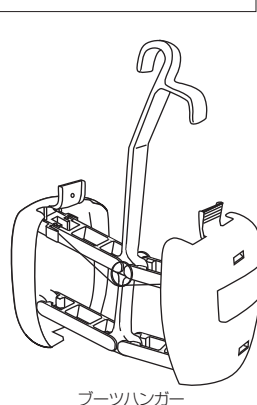
ブラケットの高さは左右対象で同じ高さに取り付けてください。ブラケットの取り付けは、システム穴の位置を避けてください。ビス取り付けの前に下穴(φ2.5)をあけてください。

セット内訳	
ブーツハンガー	2個
パイプハンガー (ブラケット2個)	W=764mm パイプ1本・ブラケット2個・取り付けビス4本
	W=366mm パイプ1本・ブラケット2個・取り付けビス4本
	W=218mm パイプ1本・ブラケット2個・取り付けビス4本
	W=523mm パイプ1本・ブラケット2個・取り付けビス4本
フック	5個



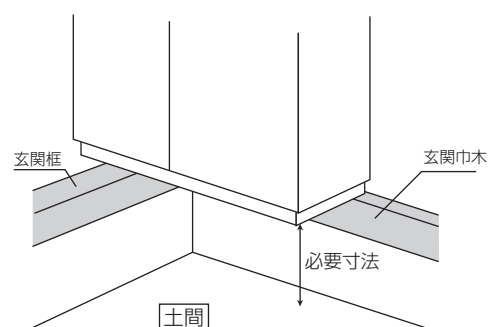
耐荷重 1.5kg

フックを取り付ける場合は、パイプハンガーをブラケットに設置する前にパイプハンガーにフックを通しておいてください。



■ アルミ脚（台輪施工の場合のみ）

セット内訳	
脚本体	2本
脚取り付けネジ	2本



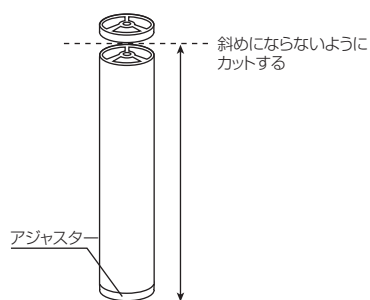
(1) キャップをはずしてください。



！ 注意

脚はアルミ製ですので金物専用のノコでカットしてください。木材専用のノコでカットすると、ノコが破損してしまうおそれがあります。

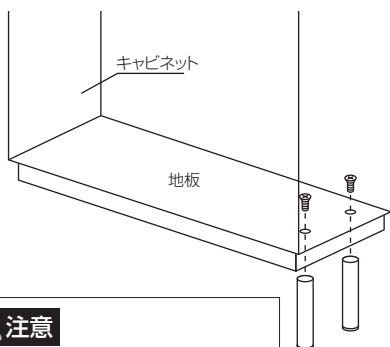
(2) 必要寸法から**5～10mm程度短めに**カットし、キャップをはめてください。



！ 注意

脚をカットする際はアジャスター側をカットしないよう、気をつけてください。また、カットは斜めにならないように気をつけてください。

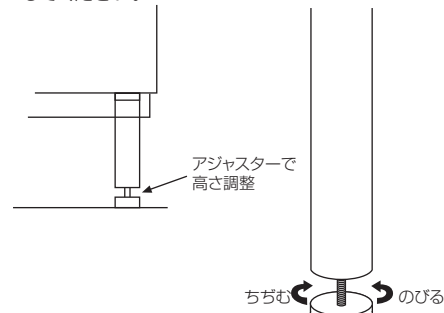
(3) 任意の位置でキャビネットの地板側から下穴（φ6）をあけて、同梱のネジで地板と脚を固定させてください。



！ 注意

最後までしっかりとネジを締めてください。ネジが緩んでいるとキャビネットなどが転倒し、ケガをするおそれがあります。

(4) 必要寸法に合わせてアジャスターで寸法を調整してください。



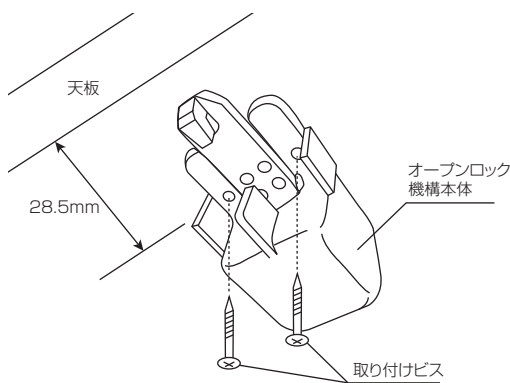
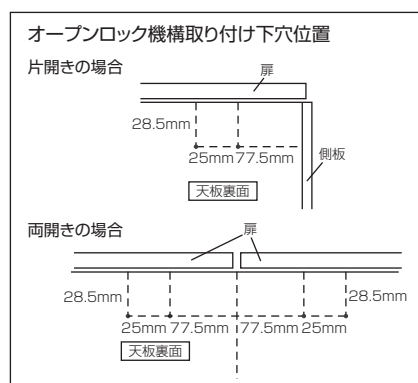
右にまわす→アジャスターがのびる
左にまわす→アジャスターがちぢむ

アジャスター 約20mm調整可能

■ オープンロック機構 ※フローキャビネットには取り付けできません。

(1) 本体の取り付け

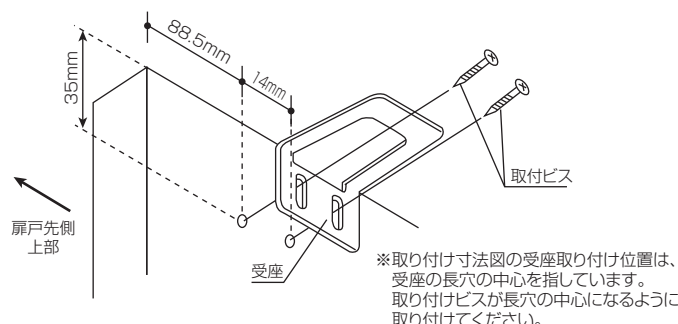
オープンロック機構本体をキャビネット天板の指定の位置に下穴（φ2.5）をあけ、取り付けビスで取り付けてください。



セット内訳	
オープンロック機構本体	1個
オープンロック機構取り付けビス	2本
受座	1個
受座取り付けビス	2本

(2) 受座の取り付け

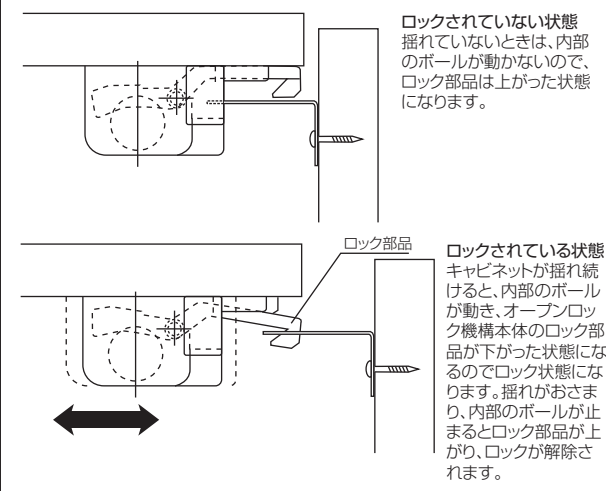
受座を扉裏面の指定の位置に下穴（φ2.5）をあけ、取り付けビスで取り付けてください。



！ 注意

オープンロック機構本体、受座を取り付けるときは、必ず先に下穴をあけておいてください。ビスを締めるときに、インパクトドライバーなどを使用しないでください。ビスを強く締めすぎると空回りしたりし、確実に固定されないおそれがあります。

ロック機構について

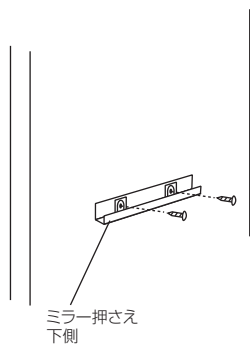
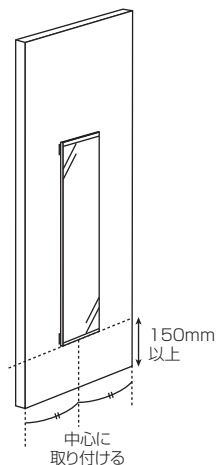


ロックされていない状態
揺れていないときは、内部のボールが動かないので、ロック部品は上がった状態になります。

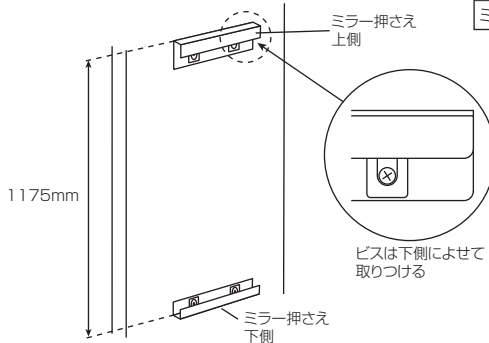
ロックされている状態
キャビネットが揺れ続けると、内部のボールが動き、オープンロック機構本体のロック部品が下がった状態になるのでロック状態になります。揺れがおさまると、内部のボールが止まるとロック部品が上がり、ロックが解除されます。

■内ミラーセット(扉裏取り付け)

- (1)ミラーの取り付け位置を決めてください。
※ミラーを取り付ける位置にゴミや汚れなどがないようにしておいてください。ゴミや汚れなどがあると両面テープの接着力が弱くなります。
- (2)ミラー押さえ下側を同梱のビスで取り付けてください。
(完全に固定する)



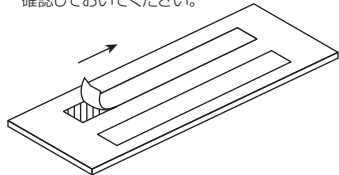
- (3)ミラー押さえ上側を同梱のビスで仮固定します。このときビスは取り付け部分の下側によせて打ち込んでください。また、ミラー押さえ上側が後で動く程度にとめておいてください。
※強く締めすぎると、後で動かなくなります。



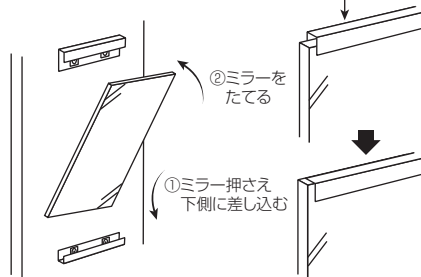
※フラット形状の扉のみ取り付け可能。
(枠組扉の内側には取り付けできません)

セット内訳	
ミラー	1枚
ミラー押さえ	2本
ミラー押さえ取り付けビス	4本

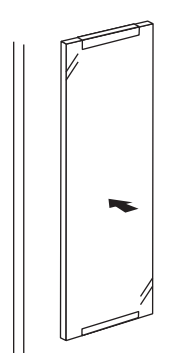
- (4)ミラー裏側の両面テープをはがしてください。
※両面テープをはがす前に、1度取り付け位置にあてて、ミラー押さえ上側の位置が問題ないか、確認しておいてください。



- (5)ミラーを正面から入れミラー押さえ上側を下にずらし、ミラーがはずれないようにとめる。



- (6)ミラーが完全に動かなくなるように表から押さえ両面テープを圧着させてください。

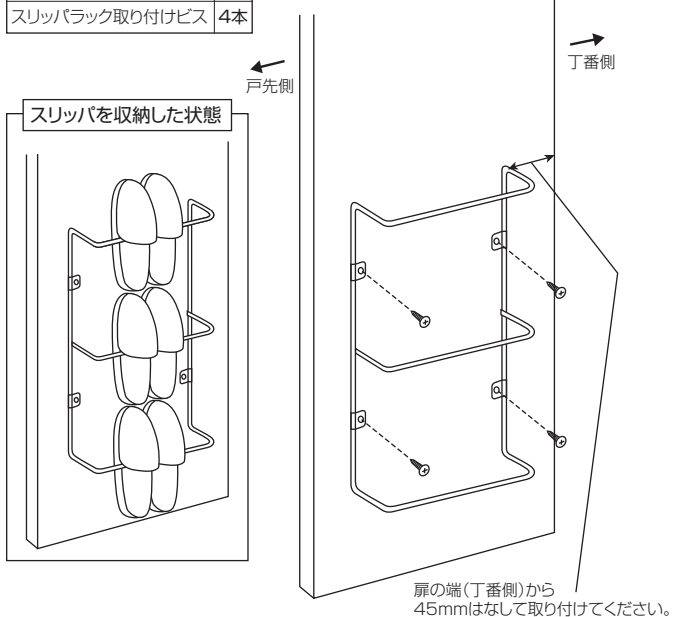


■スリッパラック(扉裏取り付け)

カスタムオーダー・奥行き400mm(棚板タイプ)にしか取り付けできません。※W寸法はレギュラー巾以上に対応。

セット内訳	
スリッパラック本体	1個
スリッパラック取り付けビス	4本

耐荷重	スリッパ専用
	※スリッパ以外のものは収納しないでください。

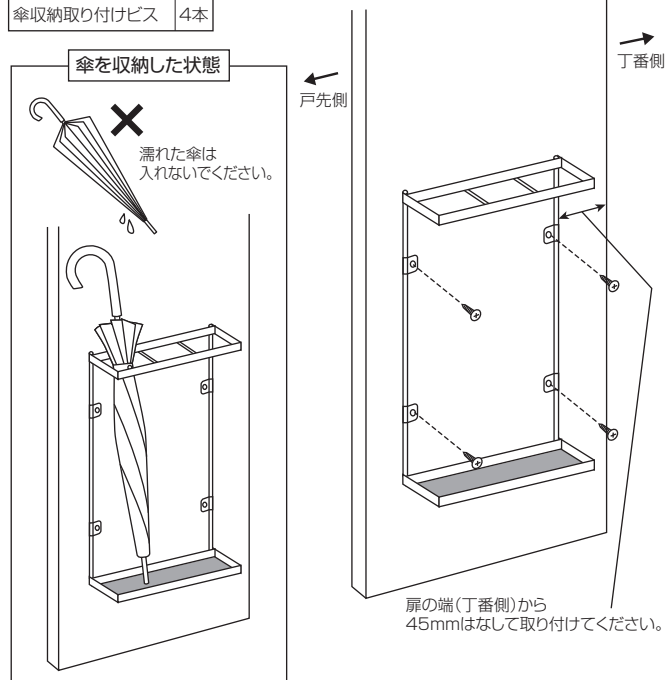


■傘ラック(扉裏取り付け)

カスタムオーダー・奥行き400mm(棚板タイプ)にしか取り付けできません。※W寸法はレギュラー巾以上に対応。

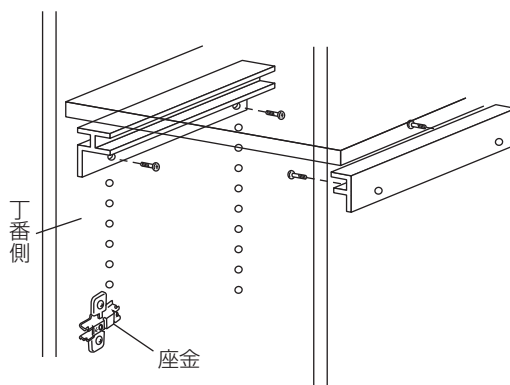
セット内訳	
傘収納本体	1個
傘収納取り付けビス	4本

耐荷重	傘専用
	※傘以外のものは収納しないでください。



■ アミカゴ トールキャビネットW=398mmタイプのみ取り付け可能。

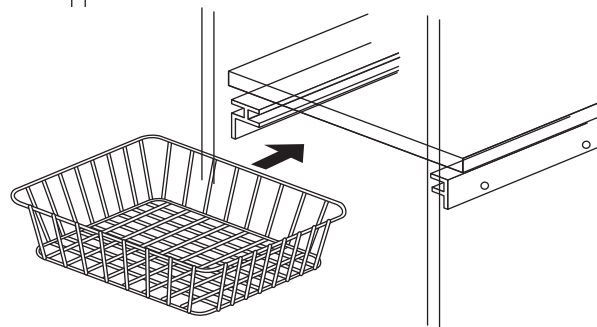
- (1) 任意の位置にバスケット受けレールを同梱のレール固定ネジで取り付けてください。このとき、固定はシステム穴を利用してください。



セット内訳	
バスケット本体	1個
バスケット受けレール(丁番側)	1本
バスケット受けレール	1本
レール固定ネジ	4個

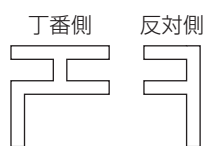
耐荷重 2kg/本

- (2) 取り付けしたバスケット受けレールにバスケット本体をスライドさせて取り付けてください。



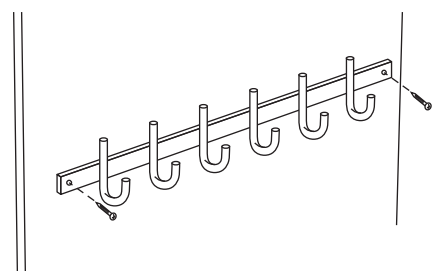
⚠ 注意

丁番側と反対側でバスケット受けレールの形状が異なります。誤って逆に取り付けると、丁番・扉本体とバスケットが接触する可能性があります。



■ 六連フック

耐荷重 2kg
※6個のフック全ての合計重量。



扉の裏に取り付けます。
取り付け位置を確定させたら下穴(φ2.5)をあけ、同梱の取り付けビスで固定させてください。

⚠ 注意

六連フックが固定棚や中仕切り板、可動棚にあたらないように気をつけてください。

セット内訳

六連フック本体	1個
六連フック取り付けビス	2本

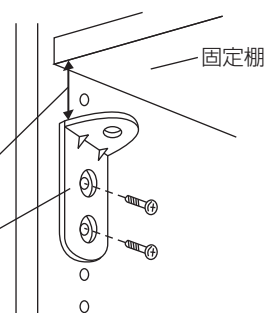
■ 回転小物入れ

耐荷重 300g/個

- (1) 固定棚の下に、トレー本体が入るスペースをあけて、トレー受け金具を同梱の取り付けネジで固定します。このとき、固定はシステム穴を利用してください。

トレー本体の入るスペースを確保

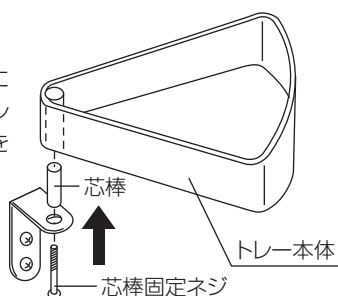
トレー受け金具



セット内訳

トレー本体	1個
トレー受け金具	1個
トレー受け取り付けネジ	2個
芯棒	1個
芯棒固定ネジ	1本

- (2) 芯棒をトレー本体の中心に入れ、芯棒固定ネジでトレー本体とトレー受け金具を固定します。



- (3) 手前に引っ張り出せば、小物トレーが出てきます。

